

大富豪

ことばルール

プレイ人数：プレイヤー2人～

プレイ時間：20～40分

使用するもの

全ての言葉カードを使用します。



※中央に書かれている言葉は、このゲームでは使用しません。

カードの強さ

強い ←————→ 弱い
JOKER>2>A>K>Q>J>10>…>5>4>3

ゲームの準備

全てのカードをシャッフルしてテーブル上に置き、これを山札とします。

各プレイヤーは山札からカードを10枚ずつ引き、これを手札とします。

ジャンケンなどの適当な方法で、最初にカードを出すプレイヤーを決めます。

ゲームの流れ

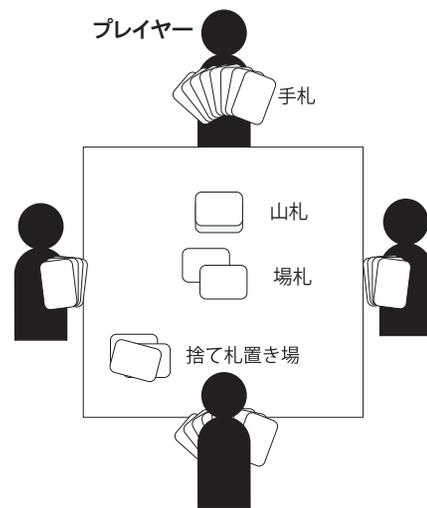
最初にカードを出すプレイヤーから時計回りの順で手札のカードを場に出します。

カードが場に出されている場合、その数よりも強いカードを同数出します。カードを出す事ができない場合、または出たくない場合、パスを宣言します。パスした場合、山札からカードを1枚引いて手札に加えることができます。

他のプレイヤーがパスをしたりスキップされたりし、場札を出しているプレイヤーの番まで回ってきたとき、場にあるカードを流し、最後にカードを出したプレイヤーからスタートします。

手札がなくなった順に、役職が与えられます。

山札がなくなった場合、ラウンドは終了し、残りのプレイヤーは手札の枚数が少ないプレイヤーから、上位の役職が与えられます。手札の枚数が同数の場合、そのプレイヤーのみで残りの手札を使用し、山札を使用せずゲームを行い、順位を決定します。(山札が関係するカードの効果は使用できません。)



役職・カード交換

与えられる役職はプレイ人数に応じて変わります。

2人でプレイする場合



3人でプレイする場合



4人以上でプレイする場合



1位が大富豪、2位が富豪、最下位が大貧民、最下位から2番目が貧民、それ以外は平民。

次のラウンドで手札10枚が配られた後、大貧民は大富豪に2枚、手札の中で一番目と二番目に強いカードを渡します。大富豪は大貧民に2枚、適当なカードを渡します。富豪と貧民はこれと同様に1枚ずつカードを交換します。

勝利条件

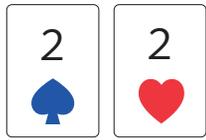
5ラウンド目に大富豪となったプレイヤーの勝利となります。

カードの出し方

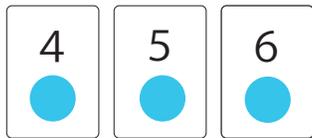
一枚出し



同数複数枚出し



階段（同じマークの連続する3つ以上の数字）



効果を持たせるカードの出し方

縛り

同じマークのカードが続けて出た場合、場札が流れるまでそのマークしか出すことができない。複数枚で縛りを行う場合、全てのカードのマークが同じである必要がある。



例えば、場札がスペード9・ハート9のペアだった場合、10以上のスペード・ハートのペアを出す縛りが成立。
片方のマークのみ同じでは成立しない。

革命

同数複数枚出しや階段で、一度にカードを丁度四枚出す事により、革命となる。以後、ジョーカー以外のカードの強さが逆転する。この状態の時、再び革命が起これば、カードの強さは元に戻る。

特殊な出し方のできるカード

ジョーカー

カードを複数枚出す際、数字とマークを指定し、好きなカードの代わりとして使用することができる。

ジョーカーを最後に出して上がることはできない。



複数枚出しであっても、ジョーカーを含めたカードで上がることはできないので注意！

スペードの3

場に出された単体のジョーカー1枚を無効にし、場札を流す。その後、スペードの3を出したプレイヤーからカードを出す。

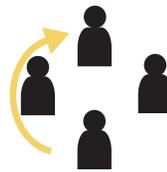


特殊な効果を持つカード

場に出したカードに以下のカードが含まれる場合、特殊な効果を処理します。

5飛ばし

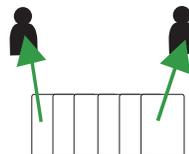
5を出した枚数分、次の人をスキップする。



プレイヤー数より1枚少ない枚数を出すことで、再び自分の番になる。それ以上の枚数を出すと自分までスキップしてしまう。

7渡し

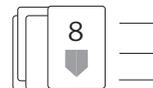
7を出した枚数分まで、不要な手札のカードを好きなプレイヤーに渡しても良い。



7を出した枚数以下の枚数を選ぶことができるので、1枚も渡さないことを選択してもよい。

8切り

場札を流す。



場札を流した後、自分の番からスタートできる。

11バック

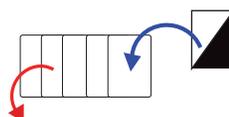
Jが場に出た時、場札が流れるまで一時的に革命状態となる。



流れるまでは革命状態。カードの強さが逆転！

13チェンジ

Kを出した枚数分まで、不要な手札のカードを捨て、捨てた枚数のカードを山札から引き直しても良い。



一枚も引き直さないことを選んでもよい。